

## 【草花の部屋】

### ホルミヌム・ピレナイクム（シソ科ホルミヌム属 *Horminum pyrenaicum*）

**和名**： **別名**： **英名**：Dragon-mouth, Pyrenean dead-nettle。

シソ目 多年草 **原産地**：ヨーロッパ

**花言葉**： **花の色**：紫



← 写真-1 ホルミヌム・ピレナイクム  
撮影日：2015年07月14日  
撮影場所：シーニゲ・プラッテ  
高山植物園(スイス)にて  
撮影者：M さん



↑ 写真-2 ホルミヌム・ピレナイクムの花  
撮影日：2015年07月14日  
撮影場所：シーニゲ・プラッテ  
高山植物園(スイス)にて  
撮影者：M さん



↑ 写真-3 ホルミヌム・ピレナイクムの葉  
撮影日：2015年07月14日  
撮影場所：シーニゲ・プラッテ高山植物園(スイス)にて  
撮影者：M さん

シーニゲ・プラッテ高山植物園内を散策中に見かけた花です。遠目に、リンドウかな？と思い、近寄って観るとシソ科の植物でした。名札も付いていたので、帰国後、調べて解りました。

ヨーロッパアルプスからピレネー山脈に分布している高山植物で、一属一種です。標高1000～2500メートルの山地草原や灌木帯に生え、高さは45センチほどになります。葉は卵形で鈍鋸歯があり、キルティングのような皺があります。5月から9月ごろ、茎先に穂状の総状花序(柄のある花が花茎に均等につく)を出し茎の上部に穂状花序をだし、濃い紫色の筒状花を咲かせます。稀にピンクや白の花もあるそうです。

### <ちょっと一言>

シーニゲ・プラッテ高山植物園(アルペンガーデン)は、標高約1950mから2000mの山岳地帯に約600種類もの高山植物が、その植物が本来、生息している環境(岩山、ガレ場、草原など)をできる限り再現した植栽にしているそうです。散策路も整備され、ちょっとしたトレイルも兼ねたような高山植物園。数々の花が名札付きで見られて便利。全部を観察するには、二時間ほど・・・。

植物園の総面積は8,323 m<sup>2</sup>。2008年に兵庫県神戸市の六甲高山植物園と姉妹提携。約1時間弱の散策でしたが、エーデルワイスをはじめ、普段、なかなか目にすることのできない植物を堪能しましたが・・・。種類と量に、少々、食傷気味に・・・。ハイキング中に見かけた時のような感動は・・・。

1893年に開通した伝統の登山鉄道で、高低差1383mのルートをゆっくりと上った所がありました。車窓からアルプスの山々や、眼下にインターラーケン、トゥーン湖、ブリエンツ湖の眺望も楽しめました。